

図書館サービスに関わる
大阪市主要計画 抜粋版
2018-2020

大阪市立図書館
平成 30 年 4 月

【はじめに】

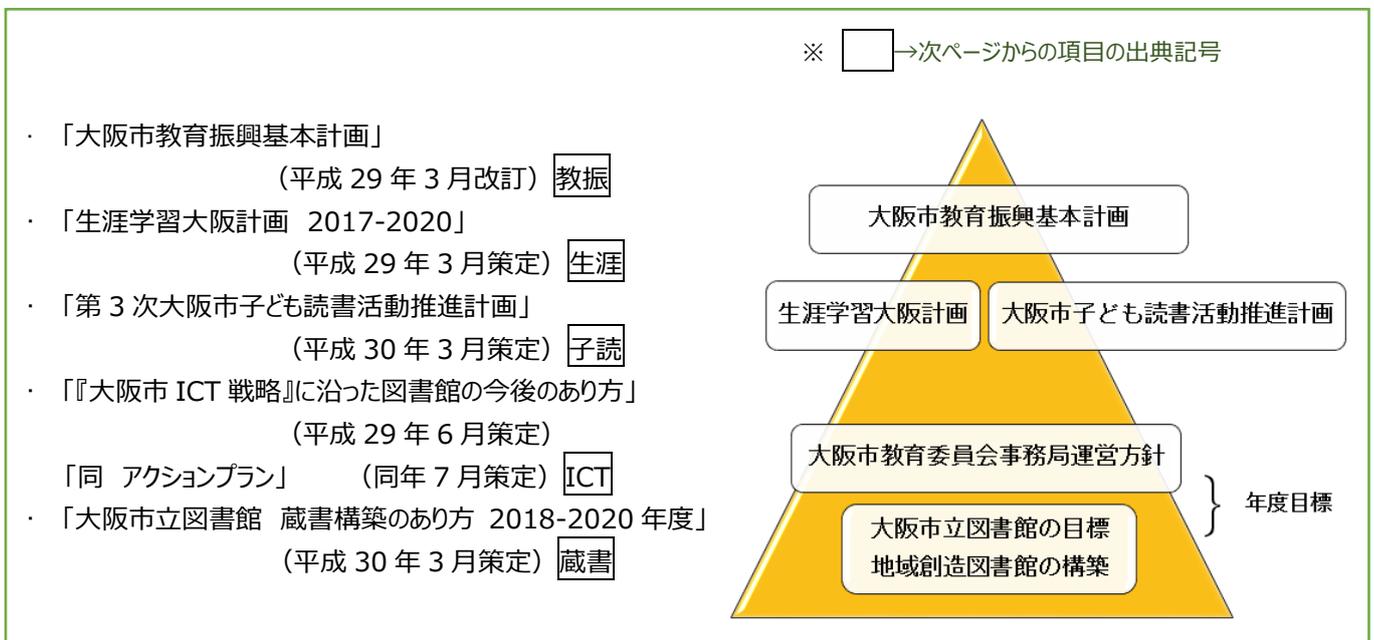


本資料は、「大阪市教育振興基本計画」、「生涯学習大阪計画（2017-2020）」、「第3次子ども読書活動推進計画」等の主要な教育や生涯学習に関わる大阪市の各計画の中で、市立図書館サービスに関わる項目を抜粋し、目標・取組計画・成果指標等について、図書館における4つの基本方針（1.地域の情報拠点化施策の推進 2.子どもの読書相談支援センターとしての機能強化 3.学校支援の機能強化 4.効率的な運営体制の確立）に沿ってカテゴリー別にとりまとめたものである。

各計画が平成32（2020）年度までを計画期間として設定していることから、「図書館サービスに関わる大阪市主要計画抜粋版 2018-2020」

として提示し、本資料でとりまとめた目標項目の具体的な実施状況の検証については、従前どおり、単年度ごとに公開している「大阪市立図書館の目標と振り返り」で、進捗と成果を自己評価していく。

図書館に関わる主要な基本計画・方針について



【参考】これまでの目標と評価について

大阪市立図書館は、平成19年～22年度の4年間で「知識創造型図書館改革プロジェクト」を実施した。定型業務の民間委託等効率的な運営体制を構築してコストを削減するとともに、開館日数の拡大等利便性の向上、調査相談機能・情報サービスの高度化、市民協働による子どもの読書活動の推進等を図り、平成23年度に行った自己評価においては、概ね目標値を達成していることを確認した。平成24年度より、「いつでも、どこでも、だれもが、課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤として、さらなる発展と再構築を目標として取組を進め、単年度ごとに目標値を設定し振り返るというサイクルで自己評価を行っている。

年度	平成19～22年度	平成23年度	平成24～28年度	平成29年度	平成30年度～
項目	4年間で「知識創造型図書館改革プロジェクト」実施	「知識創造型図書館改革プロジェクト」を検証	年度目標を設定・振り返り実施	年度目標を設定・振り返り実施 「平成24～28年度の5年間の目標」を検証	年度目標を設定・振り返り実施

4つの 基本 方針

1. 知識を創造する図書館へ —情報拠点化施策の推進—
2. 人と、心を育てる図書館へ —子どもの読書相談支援センターとしての機能強化—
3. 学校支援の機能強化
4. 効率的な運営体制の確立

「知識・情報基盤」として、調査相談機能・情報提供サービスの高度化を進め、一層の機能強化を図るとともに、未来を担う子どもの心を育て、豊かな感性と創造力を育むため地域・学校との連携による子どもの読書活動を推進する知識創造型図書館を目指す。

基本方針 1

知識を創造する図書館へ — 情報拠点化施策の推進 —

図書館は、市民が生活に必要な情報を入手し、読書を通じて文学や芸術の豊かさに触れることができる場であり、学びのセーフティネットとしての役割を担います。

1

情報収集・課題解決
のための図書館機能
の充実

知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、地域の情報拠点として生活上のさまざまな課題や地域課題の解決のため、図書資料の充実及び情報リテラシーの向上、電子資料の提供やホームページ等での情報発信の充実を図ります。

2

図書館利用アクセスの
機会均等（障がい者サ
ービス/多文化共生）

点字・録音図書の提供、対面朗読サービスの実施など、視覚に障がいがある方に対する読書支援や、外国語を母語とする方への読書支援、来館が困難な方への郵送貸出サービスなどを行っています。マルチメディアページの提供等ディスレクシア（発達性読み書き障がい）の児童への取組も進めていきます。

3

電子図書館機能（非
来館型/館内提供サー
ビス）の利用促進

自宅からも図書館サービスを利用できる電子書籍やデジタルアーカイブ、音楽配信の提供など、誰もが学びの機会を得ることができるような取組を進めます。館内設置の利用者用情報検索端末で検索可能な商用データベースの利用促進や、公衆無線LAN（Wi-Fi）の環境整備、ホームページのモバイルでの利便性向上、デジタルアーカイブのオープンデータ化に伴う一層の利用促進を進めます。

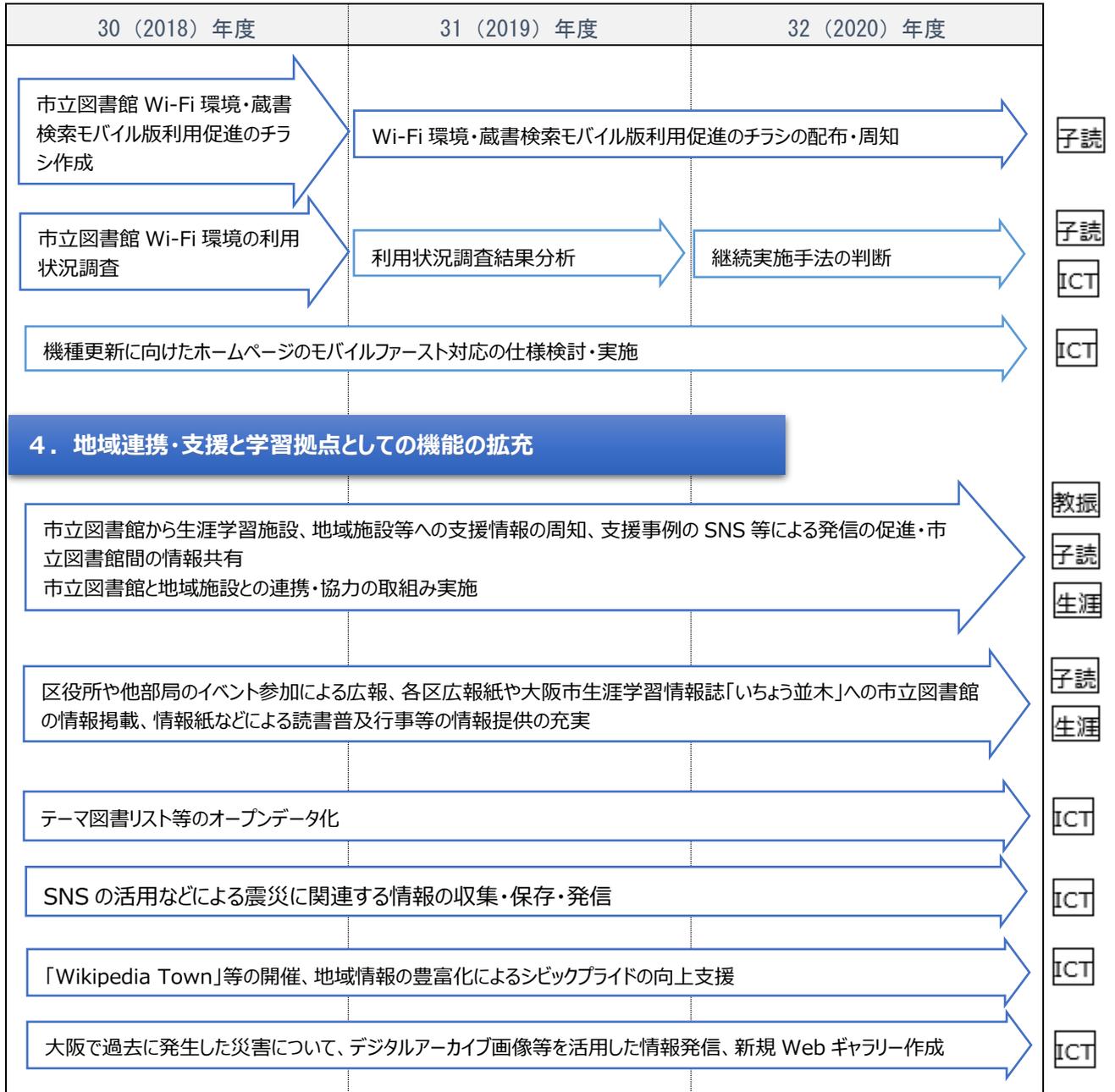
4

地域連携・支援と学
習拠点としての機能
の拡充

地域における歴史や伝統をテーマとする学習機会を提供するとともに、地域への関心・愛着を高めるような催しを実施します。区役所や、市民に身近で地域の情報を収集・発信している生涯学習関連施設等との連携を進め、広く地域に関する情報提供の充実を図り、地域における防災・減災への取組支援を進めます。

<取組目標・スケジュール>

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	
1. 情報収集・課題解決のための図書館機能の充実			
	各館の蔵書規模や特性に応じて、市民のニーズにあった図書館資料の収集とタイトル数の確保		蔵書
	参考図書や主題図書など市民の生活のさまざまな課題や地域課題解決に役立つ資料の充実整備、 区の情報拠点としての地域の資料・情報収集機能の充実整備		生涯 蔵書
	電子資料の収集・提供により、電子図書館機能を充実		蔵書
	市立図書館ホームページでの情報発信の拡大		子読
Facebook での広報追加内容の検討	Twitter・Facebook 等 SNS を使った情報発信の拡充		子読
2. 図書館利用アクセスの機会均等（障がい者サービス／多文化共生）			
市立図書館障がい者サービス利用促進に向けた広報物作成	作成した広報物による周知		子読
	マルチメディアデジター図書の充実と利用促進、読書体験会や製作講習会等の開催 【重出】		子読 ICT
多言語による地域図書館の利用案内作成	多言語による地域図書館の利用案内の配布・周知		子読
	外国語資料の充実、外国語の絵本等を活用した催しの開催		子読
3. 電子図書館機能（非来館型／館内提供サービス）の利用促進			
	商用データベース、電子書籍サービス等課題解決につながる電子図書館機能の利用促進		子読
	電子図書館機能の地域課題への活用事例紹介、職員向け情報収集・活用講座の実施等 【重出】		ICT
	デジタルアーカイブ画像の追加・メタデータのデータセット公開		ICT
メタデータの豊富化に向けた追加項目の検討・確定	メタデータ追加項目の反映		ICT
	API の提供など、「デジタルアーカイブリニューアルに向けた検討・実施		ICT



<成果指標>

項目 / 指標	28 (2016) 年度	32 (2020) 年度	
市立図書館ホームページアクセス数	7,776,748 件	8,000,000 件	子読
電子図書館機能のアクセス件数	243,056 件	25 万件	教振

基本方針 2

人と、心を育てる図書館へ

- 子どもの読書相談支援センターとしての機能強化 -

図書館の児童書の充実や、子育て支援施設や学校等との連携により、ボランティアへの支援・協働を進め、図書館が各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書活動を支援するネットワークを形成します。

1

子どもの読書活動の推進

児童書の整備やさまざまな催しの開催、ホームページでの情報発信などにより、図書館利用の促進を図ります。
ティーンズ世代の図書館利用の拡大に向けた取り組みを進めます。
障がいのある子ども、外国にルーツを持つ子どもへのサービスを拡充します。

2

市民協働による就学前施設等との連携

ブックスタートなどで初めて絵本にふれた子どもが、引き続き絵本を楽しんでいけるよう、各区の子育て支援施設や市立図書館、子育てや子どもの読書を支援する地域ボランティア等が連携して、より多くの本とのふれあいの場を作り出していきます。合わせて読書について相談できる機会を増やし、保護者に向けて保護者自身が絵本に興味をもち、絵本の持つ力（心の豊かさ、想像力、豊かな感性）を実感できるよう継続的に働きかけ、支援していきます。また、市立図書館から就学前施設等への配本回数を増やし、読書環境の整備を支援していきます。

3

大阪の歴史・現状・文化についての学習に役立つ資料や情報の収集提供

児童生徒が大阪の歴史や文化を調べるのに役立つブックリストの作成や、図書館の郷土資料や商用データベース等を使って回答する大阪の歴史や名所に関するクイズの実施など、調べ学習等で活用できる情報を積極的に発信し、学校における各教科の学習の中での活用を支援していきます。

4

ネットワークの形成

第3次子ども読書活動推進計画における取組を進め、各区、大阪市全体の子ども読書活動推進連絡会の開催により、その進捗・成果を把握し、子どもの読書活動を支援するネットワークの拡大を目指します。また、読書活動支援ボランティアを中心として、市立図書館、大阪府立図書館との協働による「One Book One OSAKA」の取組を継続し、就学前施設・学校等の他機関連携を深めていきます。

<取組目標・スケジュール>

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度
1. 子どもの読書活動の推進		
児童書の豊富化、子どもの読書活動と豊かな学びを支援するための資料、子どもの読書環境を整備するための資料の収集、図書の更新等による魅力ある本棚づくり		子読 蔵書
「こどものほんだな」の作成・配布		子読
子ども向け外国語資料の充実、外国語の絵本等を活用した催しの開催		子読
電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進		子読 ICT
マルチメディアデジター図書の充実と利用促進、読書体験会や政策講習会等の開催【重出】		ICT
自動車文庫巡回ステーションでのお楽しみ会開催など利用促進に向けた取組実施		子読

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	
<p>ホームページ「こどものページ」・「子どもにすすめる本」ページ・「ティーンズのページ」の内容豊富化、いちようネットでの情報発信の拡充</p>			子読
<p>来館や貸出でポイントがたまる「としよかんポイントプログラム」の継続実施</p>			子読 ICT
<h2>2. 市民協働による就学前施設等との連携</h2>			
<p>乳幼児健診時の読み聞かせ 子ども・子育てプラザ等就学前施設と連携・協力したブックスタート事業の啓発の推進、ブックスタートボランティア講座の実施</p>			子読
<p>市立図書館全館の子育て支援コーナーでの、区の子育て支援広報紙・子育て支援施設の行事案内等の配布</p>			子読
<p>プレママ・プレパパ向け、男性向けなどこれまで参加が少なかった層を対象とした絵本の読み聞かせ講座等の実施、乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座等の実施</p>			子読 生涯
<p>市立図書館全館で乳幼児向け催しを実施、子どもと保護者がともに参加できる催しの実施</p>			子読 生涯
<p>子育て施設等への配本回数の増に向けて、モデル施設での年2回配本の実施・検証</p>	<p>モデル施設の導入状況を踏まえ、年2回配本する対象施設の拡大</p>		教振 子読
<p>幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本、絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティアの派遣</p>			教振 子読
<p>幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の実施、読み聞かせプログラムの立案方法や絵本の選び方等ボランティアステップアップ講座の実施、全区のボランティアを対象とした情報交換会を実施</p>			子読
<h2>3. 大阪の歴史・現状・文化についての学習に役立つ資料や情報の収集提供</h2>			
<p>大阪の歴史や文化に触れるクイズを使った「としよかんポイントプログラム」の実施、連動したクイズ形式の図書館案内、資料紹介継続実施</p>			教振 子読
<p>児童・生徒が大阪の歴史や文化を調べるのに役立つブックリストの作成、ホームページ公開の継続実施・更新【重出】</p>			ICT ICT
<p>展示リスト等各種図書リストの作成・市立図書館ホームページでの公開</p>			ICT
<p>読書や図書館に関心を持てるような講座、参加型プログラムの実施、市立図書館職場体験等で電子図書館機能活用講座等を実施</p>			子読

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	
各区「調べかたリーフレット」の活用に向けた周知	テーマ別「調べかたリーフレット（子ども向け）」の作成	テーマ別「調べかたリーフレット」の活用に向けた周知	教振
4. ネットワークの形成			
子どもの読書活動推進連絡会の実施（各区・全市年 1 回以上）			子読
えほんひろばの開催など、区役所や地域施設と協力し読書普及活動の実施、情報紙などによる読書普及行事等の情報提供、区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置			子読
市立図書館全館で子ども読書の日記念事業・大阪市図書館フェスティバルの実施			子読 生涯
第 6 回 One Book の発表	第 7 回 One Book の投票	第 7 回 One Book の発表	子読
One Book One OSAKA 関連イベント等読書普及活動			子読
市立図書館と生涯学習施設、地域の企業・団体との連携の実施			子読 生涯

<成果指標>

指標	28 (2016) 年度	32 (2020) 年度	
市立図書館における児童書の貸出冊数	3,121,300 冊	3,150,000 冊	子読
市立図書館における 13～19 歳の登録者数	36,994 人	39,000 人	子読
ティーンズのページアクセス数増	6,589 件	7,000 件	子読
読書活動支援ボランティア数	2,565 人	2,500 人を維持	教振
地域図書館の子どもや子どもと大人がともに交流できる講座数		2,275 回以上	生涯

基本方針 3

学校支援の機能強化

児童生徒が主体的に読書に親しめるよう、団体貸出等学校との連携に加え、学校図書館の活用に向けた支援を進めるとともに、指導部や区との連携強化を進めます。

1

学校図書館の活性化

児童生徒の読書環境の充実に向け、学校図書館補助員を全小・中学校に週 1 回配置を継続し、学校図書館を活用した調べ学習や読書活動の活性化を図ることにより、児童生徒の主体的な学習意欲を醸成していきます。

2

市立図書館から小・中学校への図書の団体貸出等支援強化

学校送便を活用した調べ学習の事例の蓄積・利用促進、図書館見学の受入れやおはなし会参加など、小・中学校への支援を強化します。

<取組目標・スケジュール>

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	
1. 学校図書館の活性化			
小・中学校が利用できる調べ学習用蔵書の活用促進			教振
学校図書館図書整備、補助員、コーディネーターの配置、学校図書館の活用推進			教振 子読 生涯
「大阪市学校図書館活用推進事業のページ」での学校図書館や読書活動の充実に向けた取り組み情報の発信・継続実施			ICT
2. 市立図書館から小・中学校への図書の団体貸出等支援強化			
市立図書館の蔵書として、各教科の調べ学習資料を収集、学校の「朝の読書」などに活用する一斉読書用図書を収集、学校図書館の支援となる資料の充実整備			蔵書
市立図書館資料を活用した調べ学習事例の作成、小・中学校に対し学校送便を利用した団体貸出の活用による調べ学習・一斉読書支援の周知			教振
「市立図書館活用の手引き」の改訂、図書館見学、おはなし会・ブックトークなどの実施			教振
学校図書館支援ボランティア向けの入門講座、ステップアップ講座等、知識・技術・意欲向上に向けた講座の開催			子読

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	
学校図書館を活用した読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化			子読
児童・生徒が大阪の歴史や文化を調べるのに役立つブックリストの作成、ホームページ公開の継続実施・更新【重出】			ICT
電子書籍サービスで提供している英文児童書の紹介、商用データベースや電子書籍、音楽配信サービス等の電子図書館機能の活用事例を教員向け講座の中で紹介			ICT
「大阪市内の学校支援のページ」での、学校向けサービスやサポート情報発信充実			ICT

<成果指標>

指標	28 (2016) 年度	32 (2020) 年度	
市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	118,447 件	130,000 件	教振 子読

注記：「大阪市教育振興基本計画」や「第3次子ども読書活動推進計画」の取組目標等より、学校教育現場ではなく、公共図書館が主体となっている取組を抜粋しています。

基本方針 4

効率的な運営体制の確立

本市の厳しい財政状況のもと、各施設のメンテナンス等の維持管理経費も年々増加するなか、より効率的、効果的なサービス提供に結びつく取り組みが不可欠となっています。運営経費の節減や歳入確保等を進め、市民サービスの低下とならないよう無駄のない運営に努めてまいります。

1

経費節減と歳入財源の確保

ネーミングライツや自動車文庫車の車体広告、閲覧室内広告、ホームページバナーなどの広告事業や貸室事業等による歳入の増大に努めます。企業・団体に対しては、寄贈資料の大口募集を、市民の皆様に対しては、ふるさと寄附金の募集のご協力依頼を広く周知し、図書整備の推進を図るとともに、他機関との連携拡大に向けた取り組みを進めます。

2

利用環境の改善

地域図書館については、市民の利便向上や市建築物の高度利用の観点から、基本的に区民センターなど他の施設との複合建築の機会に建替整備を行っており、建替未整備館について、長寿命化を図りつつ、老朽度の著しいものや整備需要が高いもの等から順次建替整備を進めます。

3

図書館 ICT 活用等による効率的な行政運営

機種更新時のコスト削減に向け、システム構成の見直し等の検討を進め、ICT 経費の抑制に努めます。研修・標的型攻撃メール訓練の実施等を通して、職員個々のセキュリティ意識の向上を図るとともに、運用中、また機種更新後のシステムについて、セキュリティ強化の検討を進め、利用者情報の保護に努めます。

デジタルアーカイブ画像のオープンデータ化に伴い、資料の翻刻等許可事務のうち、市民の申請手続きが不要となるデジタルアーカイブ画像利用分について業務の省力化を図ります。

<取組目標・スケジュール>

30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	
1. 経費節減と歳入財源の確保			
広告事業などの実施による歳入確保			蔵書
ふるさと寄附金の募集と広報強化、寄贈資料の大口募集の実施、寄贈資料の受入促進			蔵書
地域の企業・団体・大学との連携強化による地域資料の収集促進			蔵書
保存計画の見直しと中央図書館書庫における資料保存スペース確保			蔵書
2. 利用環境の改善			
「地域図書館の建替整備について 基本的な考え方」（平成 28 年 9 月策定）に基づいた、港図書館ほか地域図書館建替整備の検討、建替整備事業の実施			教振
3. 図書館 ICT 活用等による効率的な行政運営			
セキュリティ研修・標的型攻撃メール訓練の実施／機種更新後のシステムでのセキュリティ強化の検討			ICT
電子図書館機能の地域課題への活用事例紹介、職員向け情報収集・活用講座の実施等【重出】			ICT

<成果指標>

項目	28 (2016) 年度	32 (2020) 年度
図書館来館者数とホームページ(トップページ)アクセス件数	13,876,847	1,400 万

